事業所名	まひる之でいさーびす	支援プログラム	作成日	2025 年	11 月	1 日

法人（事業所）理念	「自分の帰りたい場所に帰らせてあげたい。その場所が自宅であろうが、なかろうが。」 地域医療の向上と社会福祉の増進を図るためにご利用者さまの生活の質の向上と利便を図ることを基本理念としています。 ・最後までご利用者様が住み慣れた地域で生活するための地域医療連携の構築と提供 ・スタッフの声を大切にコミュニケーションのとりやすい組織風土 ・病気や障害がある人も明るく、彩りある生活ができるための支援							
支援方針	・子どもたち一人ひとりがもっている可能性を、活動を通して楽しみながら引き出していく。 ・一人ひとりの【らしさ】を大切にし、様々な体験、経験からそれぞれの喜怒哀楽を引き出せるよう支援する。 ・子どもが生活のなかで選択肢をもてるように地域・関係機関と連携を図る。							
営業時間	平日	9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	(あり)	なし
	休校日	8 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	(あり)	なし
	支　援　内　容							
本人支援	健康・生活	・健康な身体を育て、健康で安全に生活できるよう支援する。子どもの障害の特性及び発達の過程、特性に配慮しながら、きめ細やかな観察を行う。 ・基本的な生活習慣（睡眠・食事・排泄等を含む）を形成し、適正な生活リズムを身につけられるように支援する。 ・生活の中で、様々な遊びを通した学びが促進されるよう環境を整え、生活に必要な基本的技能の獲得に努める。						
	運動・感覚	・様々な姿勢や運動、遊びを通して、基本的・応用的動作能力の向上を図る（リハビリセラピストが評価）。 ・手や指先、身体全身も使い感覚や感触を感じ、興味を持ってもらえる取り組みを行う。 ・季節の制作（いろいろな道具の使い方を楽しむ）。						
	認知・行動	・一人一人の認知の特性を理解し、情報を適切に処理できるよう支援する。 ・空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定(スケジュールや時間の視覚化)を行う。 ・小集団での活動や、遊びの中で適切な行動を習得する。						
	言語 コミュニケーション	・言葉によるコミュニケーションだけでなく、多様なコミュニケーション手段を活用して、理解や表出が出来るよう支援する。 ・こどもに合わせた環境の設定を行い、場や空間の理解ができるよう支援する。						
	人間関係 社会性	・小集団・集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や、接し方を学ぶ。 ・自分のできることや苦手なことなど、自分の特徴を理解するとともに気持ちや情動の調整ができるように支援する。 ・社会体験や地域交流の場を設ける。						
家族支援	・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助。 ・子育ての困りごとへの相談援助。 ・家族と子どもの信頼感を育み、安定した関係を形成できるように支援。				移行支援	・こどもの意思を尊重した移行の支援を行う。 ・ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行を考慮しながら支援を行うとともに、学校、関係機関等と連携を図る。		
地域支援・地域連携	・近隣商店、商業施設での買い物 ・学校、その他の地域行事への参加 ・他施設との合同行事開催など				職員の質の向上	・定期的な療育検討、支援会議、振り返りミーティングの実施。 ・定期的な研修の実施（年間研修計画あり）。 ・ヒヤリハット等の再発防止策の検討。		
主な行事等	・避難訓練　・季節の行事（正月、ひな祭り、お花見、端午の節句、ハロウィン、クリスマス、） ・誕生日会　・入学、進級、卒業							